

## 山口義行教授の略歴および業績

1951年 5月10日生

### 学歴，職歴等

#### 学 歴

- 1970年 3月 愛知県立名古屋西高等学校卒業
- 1970年 4月 立教大学経済学部経済学科入学
- 1974年 3月 立教大学経済学部経済学科卒業
- 1974年 4月 立教大学大学院経済学研究科博士課程前期課程入学
- 1976年 3月 立教大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了
- 1976年 4月 立教大学大学院経済学研究科博士課程後期課程入学
- 1982年 3月 立教大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学

#### 学 位

- 1976年 3月 経済学修士（立教大学）

#### 職 歴

- 1986年 4月 東邦学園短期大学商学科専任講師（1990年 3月まで）
- 1990年 4月 名城大学商学部専任講師（1993年 3月まで）
- 1993年 4月 立教大学経済学部助教授（2001年 3月まで）
- 1995年 4月 立教大学経済学部経済学科長・教務主任（1997年 3月まで）
- 2001年 4月 立教大学経済学部教授
- 2017年 3月 立教大学経済学部定年退職
- 2017年 4月 立教大学経済学部兼任講師

### 学会活動

金融学会，信用理論学会，経済理論学会

### 社会における活動

- 2005年4月 関東経済産業局 新連携支援政策事業評価委員長 (2016年3月まで)
- 2009年9月 中小企業サポートネットワーク主宰 (現在に至る)
- 2010年4月 経済産業省中小企業庁 中小企業憲章に関する研究会委員 (2011年3月まで)
- 2011年4月 経済産業省中小企業庁 中小企業政策審議会企業力強化部会委員 (2012年3月まで)
- 2012年4月 法務省 法曹養成フォーラム委員 (2014年3月まで)
- 2012年4月 外務省参与 (現在に至る)

### 研究業績

#### 著書

1. 『現代経済と金融の空洞化』【編著】(有斐閣, 1987年6月)
  2. 『ポスト不況の日本経済』【共著】(講談社, 1994年7月)
  3. 『金融ビッグバンの幻想と現実』【単著】(時事通信社, 1997年11月)
  4. 『今こそ「金融アセスメント法」を制定しよう』【単著】(21世紀政策構想フォーラム, 2000年3月)
  5. 『誰のための金融再生か』【単著】(筑摩書房, 2002年6月)
  6. 『経済再生は「現場」から始まる』【単著】(中央公論新社, 2004年3月)
  7. 『現場に「解」あり! —— 中小企業の連携が未来を開く』【単著】(中央公論新社, 2007年6月)
  8. 『聞かせる技術』【単著】(河出書房新社, 2008年5月)
  9. 『バブル・リレー』【編著】(岩波書店, 2009年2月)
  10. 『“ホント”の経済』【単著】(スモールサン出版, 2012年5月)
  11. 『終わりなき世界金融危機』【編著】(岩波書店, 2012年9月)
  12. 『社長の経済学』【単著】(KADOKAWA 中経出版, 2014年2月)
- \* パート論文掲載書を除く。

#### 論文

1. 『「信用の膨張」と「紙幣の過剰」』『金融経済』第189号, 1981年8月
2. 『インフレーションにおける需要要因について』『立教経済学論叢』第19号, 1981年9月
3. 『現先市場(条件付債券売買市場)の生成について』『立教経済学研究』第36巻第4号, 1983年3月

4. 「金融の国際化と肥大化」『立教経済学論叢』第26号, 1984年12月
5. 「実体経済から『独り歩き』する金融」『経済』第278号, 1987年9月
6. 「醸成される新たな金融不安」(共著)『経済』第293号, 1988年9月
7. 「金融肥大化とその危機的諸相」暉峻・清山編『現代日本経済の構造と政策』, ミネルヴァ書房, 1989年12月, 所収
8. 「『資産インフレ』と金融政策」『中小商工業研究』第26号, 1991年1月
9. 「資産インフレの金融メカニズムについて(1)(2)(3)」『名城商学』第41巻第1号, 第2号, 第4号, 1991年6月, 10月, 1992年3月
10. 「金融市場の構造と機能」谷田・野田・久留間『現代金融の理論と構造』, 大月書店, 1992年5月, 所収
11. 「『資産インフレ』の発生と現代の金融構造」高橋昭三編『資本市場の変化と経営財務』, 中央経済社, 1992年6月, 所収
12. 「いわゆるマネーサプライ論争について(上)」『立教経済学研究』第47巻第4号, 1994年3月
13. 「世界の中の日本経済」小西・服部・北川編『経済学のオプティクス』, 1994年4月, 所収
14. 「価格破壊・産業空洞化の衝撃」『月刊J A』Vol. 480, 1995年2月
15. 「岐路に立つ日本経済と企業」企業環境学研究会編『企業と環境の新ビジョン』, 中央経済社, 1995年6月
16. 「電子金融をめぐる」『季刊 経済と社会』第11号, 1997年11月
17. 「金融再生論議と市場主義の挫折」『賃金と社会保障』1237, 1998年11月
18. 「ペイオフの危険」『中央公論』第114巻第10号, 1999年10月
19. 「中小企業金融の現状と『金融アセスメント』制度」『企業環境研究年報』第4号, 1999年11月
20. 「国債・優先株交換方式による資本注入を」『週刊金融財政事情』, 2001年4月30日号
21. 「『破壊』から『創造』へ——新たな金融システムの構築」『世界』第691号, 2001年8月
22. 「ペイオフシンドロームで破壊される日本経済」『世界』第700号, 2002年4月
23. 「金融行政を転換し, 新たな産業政策の構築を」『世界』第707号, 2002年11月
24. 「『現場』に学ぶ地域再生支援策」『地域政策研究』(地方自治研究機構), 第28号, 2004年9月
25. 「検証 新銀行東京」『世界』第757号, 2006年10月
26. 「『バブル・リレー経済』の袋小路」(共著)『世界』第776号, 2008年3月
27. 「いまこそ内需再生を——環境・福祉・地域ベンチャーの挑戦を」『世界』第796号, 2009年10月

28. 「米国発金融危機と日本経済」『企業環境研究年報』第13号, 2009年12月
29. 「“中小企業の国際化”が日本経済を救う——進行する『100年に1度の産業構造変化』」『世界』第809号, 2010年10月
30. 「中小企業を押し潰すアベノミクス」『世界』第853号, 2014年2月
31. 「法人税減税と中小企業増税——株価対策と化した成長戦略」『世界』第859号, 2014年8月
32. 「信用創造と金融仲介」『立教経済学研究』第69巻第1号, 2015年7月

#### 学会報告

1. 「現先市場の発展過程と現状」『証券経済学会年報』第19号, 1984年5月
2. 「金融革新と金融の肥大化」『信用理論研究』(信用理論研究学会)第5号, 1988年6月
3. 「金融危機と金融改革」『経済理論学会年報』(経済理論学会)第36集, 1999年10月
4. 「バブル・リレーと日本経済」『信用理論研究』(信用理論研究学会)第28号, 2010年12月

#### 時評・解説・対談など

1. 「ブームとしての規制緩和——どう評価すべきか」『じつぎょう地歴・公民資料』41, 1995年2月
2. 「1996年の金融経済を展望する」『信用金庫』第50巻第1号, 1996年1月
3. 「不況の向こうに何が見えるか」『日本科学者会議』Vol. 31, 1996年1月
4. 「経済白書へのコメント 日本の『強さ』分析が必要」『毎日新聞』1997年7月17日
5. 「金融ビッグバン, その幻想と現実」『銀行労働調査時報』580, 1998年1月
6. 「久留間健先生の人と学問」『立教経済学研究』第51巻第4号, 1998年3月
7. 「市場を守る? 金融監督庁の“恐怖政治”」『世界週報』, 1999年5月25日号
8. 「グローバル・スタンダードとジャパニーズ・ウェイ——ペイオフ論議によせて」『立教経済人クラブ会報』, 1999年11月
9. 「世界の潮: ペイオフ解禁延期をどうみるか」『世界』第672号, 2000年3月
10. 「解説——拓銀破綻が媒介したもの」北海道新聞取材班『解明・拓銀を潰した「戦犯」』, 講談社文庫, 2000年12月, 所収
11. 「2000年の金融界を回顧する」『信用金庫』第54巻第12号, 2000年12月
12. 「ITバブル崩壊後のIT革命は『産業革命』でなく『生活革命』に」『週刊金曜日』2001年1月26日号
13. 「根拠なき期待: 経済政策からみた『小泉人気』」『週刊金曜日』, 2001年6月8日号
14. 「コミュニティの一員として——信金の情報公開・広報活動を考える」『金融ジャーナル』,

2001年3月号

15. 「不良債権とその処理に関する基礎知識」『バンクビジネス』, 2001年10月
16. 「ペイオフはグローバルスタンダードではない」『週刊エコノミスト』, 2002年2月19日号
17. 「誰のための金融再生なのか」『HEERO REPORT』(北海道雇用経済研究機構) 2002年4月
18. 「金融改革の忘れもの——検証・金融ビッグバン以降」『データマップ日本——日本経済再生への処方箋』, NHK 出版, 2002年6月
19. 「BIS 規制こそが銀行経営を歪めている」『週刊エコノミスト』, 2002年11月26日号
20. 「動き出した『リレーションシップバンキング』」『週刊エコノミスト』, 2003年10月13日号
21. 「中小企業金融は改善するか：新銀行構想は的はずれ」『日本の論点2004』, 文藝春秋社, 2003年11月, 所収
22. 「地域金融の現状と展望」『財政と公共政策』(財政学研究会) 第26巻第2号, 2004年10月
23. 「地域再生・経済再生は現場から」『金融労働調査時報』第653号, 2005年2月
24. 「企業の将来性を見抜くための経済学」『経済セミナー』第603号, 2005年4月
25. 「『地域』のために金融機関は何ができるか」『近代セールス』2005年12月15日号
26. 「革新と創造の時代へ——2006年, 社会と会社がなすべきこと」『JIR ニュース』(常陽産業研究所) 2006年1月号
27. 「日本経済の展望と課題2006年」『産業情報とちぎ』(栃木県産業振興センター), 1・2月合併号, 2006年1月
28. 「地域再生を考える」『アカデミア』(市町村アカデミー) 第80号, 2006年1月号
29. 「逆風下でこそ, 中小企業の革新力が輝きを増す!」『中小公庫マンスリー』(中小企業金融公庫) 第56巻第3号, 2009年3月
30. 「世界の潮：新銀行東京——非現実的な計画と当然の大損害」『世界』第778号, 2008年5月
31. 「世界の潮：『金融資本主義』の終焉?」『世界』第784号, 2008年11月
32. 「労働対策 3つの逆説」『ビジネス・レーバー・トレンド』(労働政策研究・研修機構) 2010年12月号
33. 「どのような国づくりを目指しているのか——『理念』と『対話』を欠いた菅政権の経済政策」『世界』第815号, 2011年4月
34. 「座談会 ほんとうの危機はどこにあるのか?」『世界』第824号, 2011年12月
35. 「金融機関は『情報・安心』の提供を」『金融ジャーナル』2014年1月号

36. 「座談会 第3の矢 成長を知らない『成長戦略』」『文藝春秋』2014年7月号
37. 「法人税減税は必要か」『週刊エコノミスト』, 2014年9月30日号
38. 「日本の『ものづくり魂』が果たす国際貢献」『mundi』(JICA) No. 14, 2014年11月
39. 「『三本の矢』が中小企業から活力を奪っている」『2015年の論点100』, 文芸春秋社, 2015年1月, 所収
40. 「検証 アベノミクスという『幻想』」『ひろばユニオン』(労働者学習センター) 第646号, 2015年12月号